安全データシート

新規作成 : 2011年 1月27日 改訂 : 2025年 4月 1日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : TDP-DA1

供給者情報 会社名 : 三菱製紙株式会社

住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号

担当部門:技術本部 安全環境品質保証部

問い合わせ窓口:機能商品事業部 (電話番号:03-5600-1488(代表))

推奨用途:サーマルディジプレート用給湿液添加剤

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない又は分類できない 健康に対する有害性: 分類基準に該当しない又は分類できない 環境に対する有害性: 分類基準に該当しない又は分類できない

注意書き

不浸透性保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。 取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学品名又は一般名 : 給湿液添加剤

成分及び含有量

官報公示整理番号Cas No.含有量%グリセリン(2)-24256-81-57 0 - 9 0水対象外7732-18-51 0 - 3 0

4. 応急措置

吸入した場合: 吸入の可能性は少ないが、大量のミストを吸入した場合は、速やかに空気

の新鮮な場所に移動してください。異常を感じた場合には速やかに医師の

診察を受けてください。

皮膚に付着した場合:接触すると炎症を起こすことがあります。直ちにきれいな流水で洗い流し

てください。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受

けてください。

眼に入った場合: 直ちにきれいな流水で15分以上洗ってください。洗浄の際、まぶたを指

でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗 浄してください。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していな い限り、取り除いて洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師 の診断/手当てを受けてください。

飲み込んだ場合: 口をすすいでください。無理に吐かせないでください。直ちに医師に連絡してください。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 :水、水霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤:特になし。

特定の消火方法:周辺火災の場合には移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移してください。

保護具等 : 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用してください。

風上から消火活動を行ってください。

燃焼により成分が分解してCOxガスが発生する場合があります。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止してください。保護具(送気マスク、空気呼吸器、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、保護面、安全帽、長袖保護服、保護長靴など)を必ず着用して回収してください。風上で作業してください。多量の場合は、人を安全に避難させてください。

環境に対する注意事項:

漏出した液体や洗浄に使用した汚染水が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないよう注意してください。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

砂又は不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収してください。回収した液を廃棄する場合は関係法規に従ってください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置してください。

火気を近づけないようにしてください。

安全取扱注意事項:作業場の換気は、強制換気を用いて十分に行ってください。

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用してください。 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいを行ってください。

保管

適切な保管条件 : 通気の良い場所で容器を密閉して保管してください。

安全な容器・包装材料:製品使用容器に準じてください。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:局所排気装置等 強制換気による換気

管理濃度:安衛法管理濃度 : 未設定 許容濃度:日本産業衛生学会 : 未設定

ACGIH : 未設定

保護具 : 呼吸器 保護マスク

手 保護ゴム手袋

眼 保護眼鏡

皮膚及び身体 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:粘性液体 色:無色

臭い : ほとんど無臭 p H (at 25°): 4-7 (TDP-DA1: 水=3:7)

沸点 : 198℃/5.3kPa (グリセリン) 融点 (流動点) : 20℃ (グリセリン)

凝固点:約15℃ (グリセリン)

可燃性:データなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:データなし

引火点:検出せず 自然発火点:370℃ (グリセリン)

分解温度: 290° C (101Pa) (グリセリン) 蒸気圧: 0.025mmHg (50° C) (グリセリン)

相対ガス密度:3.1(air=1)(グリセリン) 動粘性率:データなし 密度及び/又は相対密度:1.1-1.3(at 25℃)溶解度:水に可溶 オクタノール/水分配係数:データなし 粒子特性:非該当

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の取扱い条件下では安定である。 化学的安定性 : 通常の取扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性 : 特になし

避けるべき条件: 高温、直射日光

混触危険物質:特になし

危険有害な分解生成物:燃焼により成分が分解してCOxガスが発生する懸念がある。

11. 有害性情報

急性毒性:情報が少なく分類できない

・グリセリン LD50 12600mg/kg (ラット経口)

皮膚腐食性/刺激性:情報が少なく分類できない

・グリセリン ドレイズ法: ウサギ 500mg/24時間 (Mild) 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 情報が少なく分類できない

・グリセリン ドレイズ法: ウサギ 500mg/24時間 (Mild)

呼吸器感作性又は皮膚感作性:情報が少なく分類できない

生殖細胞変異原性:情報が少なく分類できない

発がん性:情報が少なく分類できない 生殖毒性:情報が少なく分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露):情報が少なく分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露):情報が少なく分類できない

誤えん有害性:情報が少なく分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 :製品としてのデータなし

・グリセリン コイ LC50: >1000mg/L(48h)

残留性・分解性:

・グリセリン 化審法生分解度試験 (OECD301C、Modified MITI test(I))

BOD生分解率 63%(14日後) (グリセリン)

生体蓄積性 : データなし 十壌中の移動性: データなし オゾン層への有害性:分類できない

(モントリオール議定書の付属書に記載される物質は使用していない)

他の有害性:

・グリセリン BOD5 0.58g/g (JIS K102)、COD(Cr) 1.1g/g (JIS K102)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「都

道府県条例」に従い、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、

運搬、処理を委託してください。

汚染容器及び包材:内容物を完全に除去した後に処分してください。

14. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による

国連分類及び国連番号:該当しない

15. 適用法令

安衛法: 非該当 化管法: 非該当 毒劇法: 非該当 消防法: 非危険物

16. その他の情報(引用文献等)

独立行政法人 製品評価基盤機構 「化学物質総合情報提供システム (CHRIP)」 「GHS分類対象物質一覧」

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理的及び化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の取扱い対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。